



私たちの暮らし、健康、美しい秋田の海が  
私たちのためのものではない…  
私たちには必要のない…  
洋上風力発電の建設のために  
壊されようとしています。

## 由利本荘市沖洋上風力発電事業計画の中止を求める 賛同署名に、皆様のご協力をお願い致します。

～ 秋田県由利本荘市沖洋上風力発電事業計画 (レノバ) ～

岩城～西目まで約30キロの海に、高さ200メートル（セリオンの2倍ほど）の巨大風車を100基近く並べる計画があります。※初期段階では140基とされていた。水平線に沈む美しい夕陽の景色は、巨大風車で埋め尽くされることとなります。秋田の電力は足りていて、まず、これは地元の電力のために必要な風力発電ではありません。

風車には、騒音や低周波音による健康被害、自然環境や景観の破壊などの様々な深刻な問題があるため、北欧などの風車先進国の洋上風力発電は、陸地から少なくとも20～40キロ以上離れた沖合に建設するようにされています。しかし、この計画の建設予定地は私たちの暮らしから、わずか1～3キロ沖です。これはあまりにも近過ぎであり、住民のくらしや健康を無視していると言わざるを得ない計画です。

風車による健康被害に悩まされる人は数多くいますが、現在は国がそれらの健康被害と風車との因果関係を認めることが出来ていない状況です。このような状況で、「世界にも例のない規模」の巨大風力発電を、私たちの暮らしから、わずか1～3キロに建設されることが、いかに危険で恐ろしいことか。

このような事業計画は、事業者主体の調査や説明会で進められるため、私たち住民が、反対の意思を示す間も与えられないような状況下でどんどん進められて来ました。「反対の声があがりにくい」と狙われ続ける秋田は、今まさに「風車乱開発状態」となっています。

この由利本荘市沖洋上風力発電も、来年2019年7月「準備書」が認められてしまえば、住民の意に反して建設されます。それまでに私たち住民がしっかりと反対の意思を示す必要があります。※鳥海山麓の風力発電計画は、地元住民らが反対の意思を示した事で「地元の理解が得られなかった。」と計画中止になりました。

この活動は、風力発電のすべてを否定するものではありませんが、私たち住民の暮らし、健康、美しい秋田の海の環境を脅かすような計画が、私たち住民の意思を無視して進められることを決して許さず、自分たちの暮らし、健康、歴史、環境を、自分たちで守り、次の世代に受け継いで行くための活動です。

### 秋田の美しい海をいつまでも残そう！

ひとりでも多くの賛同のご署名をお願いいたします。